

自ら**学ぶ力**をはぐくむ
豊かな**心**をはぐくむ
健康な**体**をはぐくむ
郷土**愛**をはぐくむ

R3 県北プライド



◆自己肯定感・他者肯定感・郷土愛・協働する力の育成を目指して◆

校長 阿部 央

事故のない充実した夏休みを

不審者に注意

ほとんどの町民が避難継続中の町、夜になるとほとんど人の気配を感じることもない。

たまには散歩でもするかと思いつき、午後8時に校舎周辺の巡回を兼ねて散歩中、中学校の正門近くで巡回警備中のパトカーに呼び止められた。

「こんな時間に何をしていますのですか？名前は？住所は？・・・」

完全に不審者の疑い。上手く説明しないと中学校敷地内不法侵入として処理されそうである。

「〇〇中学校の校長の□□□と申します。校舎周辺の巡回を兼ねて散歩しているところです。」

「身分を証明できるものはお持ちですか？」

「今は持ち合わせていません。」

この後、いくつかのやり取りが続き、「お疲れさまです。われわれも定期的にパトロールしますが、校長先生もよろしくお願いします。」

この一言で、翌日以降も夜の散歩を止めるわけにいかなくなった。

1学期中、伊達地区内においても不審者情報が数多くありました。まもなく夏休みを迎えますが、外出の際は十分に気を付けてほしいと思います。国見町には皆さんを助けてくれる「**子ども110番の家**」が数多くあります。もしもの時には躊躇することなく助けを求めてください。



交通事故に注意

長い直線道路を走行中、「あの信号のない横断歩道を過ぎれば卒業検定も終わりだ。」と心の中でつぶやいていた。横断歩道の近くに一人の高齢者が立っていることは、ずいぶん手前から確認していた。高齢者は一向に横断歩道を渡ろうとする様子を見せない。この高齢者は横断しないと判断し、スピードを落として横断歩道を通過しようとした瞬間、助手席の教官が補助ブレーキを踏んだ。

「検定はここまで。教習所に戻ってください。」

教習所に戻り教官から一言。

「横断歩道の近くに人が立っていたよね。止まらなきゃダメでしょう。」

今日で自動車学校も卒業だと信じていたのに・・・

運転免許を取得して間もなく40年。これまで無事故・無違反を続けてこられたのは、あの時の高齢者のおかげかも知れない。



本日7月16日(金)から7月25日(日)までの10日間は、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動の実施期間になります。今回のスローガンは『**ゆずりあい 「お先にどうぞ」で 事故ゼロへ**』です。

充実した夏休みとなるよう、交通事故にも十分に気を付けてほしいと思います。